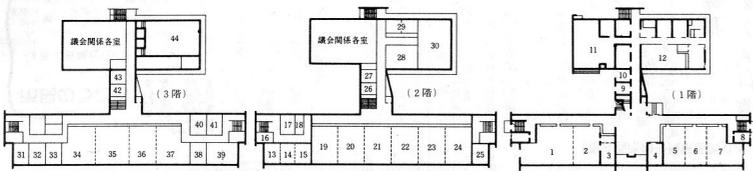


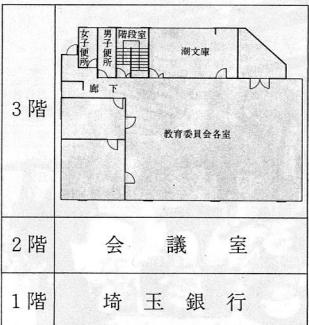
このような配置に変わります

(本庁舎案内図)



- 31 男子 先生 生室
- 32 女子 先生 生室
- 33 工 事 機 関 査 査 室
- 34 下 水道 設 備 室
- 35 建 設 設 備 室
- 36 区 画 形 態 調 査 室
- 37 都 市 計 画 課 査 査 室
- 38 市 史 編 纂 人 室
- 39 パ ン ナ ン 子 室
- 40 電 報 室
- 41 電 話 交 換 室
- 42 W C
- 43 W C
- 44 講 堂
- 13 志 士 紀 念 室
- 14 第 一 助 務 課 査 査 室
- 15 第 二 助 務 課 査 査 室
- 16 第 三 助 務 課 査 査 室
- 17 第 四 助 務 課 査 査 室
- 18 第 五 助 務 課 査 査 室
- 19 公 民 接 触 室
- 20 公 民 接 触 室
- 21 公 民 接 触 室
- 22 公 民 接 触 室
- 23 公 民 接 触 室
- 24 公 民 接 触 室
- 25 公 民 接 触 室
- 7 F C C 機 室
- 8 F C C 機 室
- 9 F C C 機 室
- 10 F C C 機 室
- 11 F C C 機 室
- 12 F C C 機 室
- 1 税 金 課 査 査 室
- 2 課 課 課 課 課 課 課
- 3 課 課 課 課 課 課 課
- 4 市 民 接 触 室
- 5 市 民 接 触 室
- 6 市 民 接 触 室
- 7 市 民 接 触 室
- 8 市 民 接 触 室
- 9 市 民 接 触 室
- 10 市 民 接 触 室
- 11 市 民 接 触 室
- 12 市 民 接 触 室
- C C 機 室
- 機 室

[市役所別館案内図]



市役所別館は、本庁舎南側に位置し、埼玉銀行と併設の形で建てられています。今回の増築工事は、これまでの二階建物に対して三階部分を建て増しするもので延べ面積にして二八五・一平方メートルになります。この工事は、昨年の九月に着工され今年の二月に竣工予定です。完成時には、教育委員会が使用するようになります。

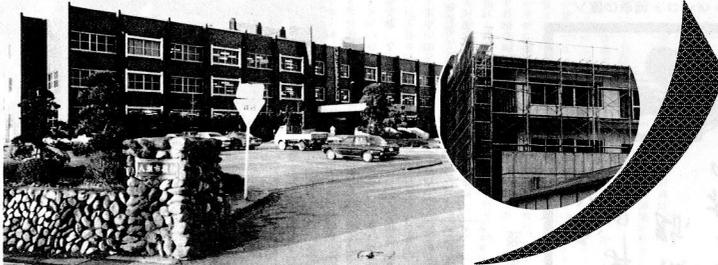
【本庁舎増築工事の概要】

本庁舎の増築工事は、庁舎西側部分二階機室の上に二階三階二部を増築して増しを行い、延べ面積にして三三六・三平方メートルとなります。この工事は、昨年の十一月に着工され今年の三月の竣工される予定で進められていますが、この建物が完成し

市役所別館は、本庁舎南側に位置し、埼玉銀行と併設の形で建てられています。今回の増築工事は、これまでの二階建物に対して三階部分を建て増しするもので延べ面積にして二八五・一平方メートルになります。この工事は、昨年の九月に着工され今年の二月に竣工予定です。完成時には、教育委員会が使用するようになります。

【本庁舎増築工事の概要】

本庁舎の増築工事は、庁舎西側部分二階機室の上に二階三階二部を増築して増しを行い、延べ面積にして三三六・三平方メートルとなります。この工事は、昨年の十一月に着工され今年の三月の竣工される予定で進められていますが、この建物が完成し



ただ今工事中!

市庁舎の増築に伴い 一部課の配置が変わります

市では、複雑多様化する行政需要に対応するため、昨年九月より市庁舎の増築工事を進めています。この工事は本庁舎二階の一部増築と併せて市役所別館三階の増築を行っているもので、完成は本年三月及び三月の予定です。また市では、この庁舎の完成待って遅延する行政事務を円滑化するため、現在一部課の配置調整を早へく準備を進めています。そこで今回は、これら概要について紹介いたします。

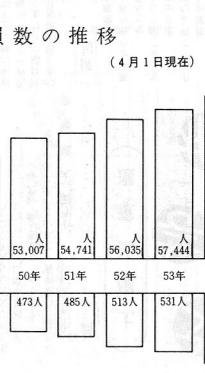
都市化の波と 増大する行政需要

私たちが住む八海市は、昭和四十七年十一月五日に制を施行して以来今年で八九年目を迎えます。この間、当市は首都近郊の中核都市として著しい発展を遂げ、市内には工場や住宅などが立ち並びその様相も農村社会から都市社会へと急速に移行しつつあります。こうした中で、当市の人口も年々増加の傾向を示しており、下のグラフで表わしたように昭和四十七年の人口が四万四千六百六十一人だったに対し、昭和五十三年には五万七千四百四十四人と一万二千七百八十三人も増えています。このようにことから市役所が働く職員も毎年増員され、行政業務も増大の一途を辿っており、事務要を合理的、能率的に処理してい

くため、これまでに何度となく構の改革を行ってきました。しかし、その機構も年々増え続ける新しい行政機構に対応するためにはさまざまな問題を生じ、課の新設と廃止を必要とさせており

市では、このよう現状から増大する事務の細分化を図るため、昨年の四月に都市計画課から区画整理係を独立させ、新たに区画整理課を設置したのをはじめとして教育委員会の中に課制をひき、総務、学校教育、社会教育の三課を設けました。

現在、当市の行政機構は市長、助役、収入役の三役をはじめとして、総務部、民生経済部、建設部



の三部と教育委員会と合わせて十八課、一事務所、二事務局、三室、一課から成っています。そして、そこで働く職員は五百三十一人を数えるに至っております。

急ピッチで進む 庁舎増築工事

ところで、現在使用している庁舎は、昭和四十六年十月に建設されたもので今年で八年目を迎えます。

二建物は、中馬場一八三二番地にあった旧庁舎の老朽化に伴って現在の所在地である二日九〇番地に移動して建てられ、鉄筋

【別館増築工事の概要】

コンクリート二階建てとして当時四億七千万円という予算をかけてたてあげたものです。建築にあたっては、将来性というものを充分考慮され、内部には広い開放を取り入れ、窓口サービスの徹底、効率的な運営ができるように配置がなされてきました。

そのほか、その建物も年々増加する人口と共に行政需要の拡大、職員の増員等によってその機能も充分発揮することができ、今日では窓口の混雑化、事務効率の低下などさまざまな問題が生じています。

そこで市では、この改善を図っていくためで今回となく庁舎開き、開講とも話し合いを行って検討を重ねてきましたが、その結果、昨年九月に市役所別館の増築工事を始め、この工事は、十一月には本庁舎二階、三階の一部増築にとりかかってきました。

【別館増築工事の概要】

市役所別館は、本庁舎南側に位置し、埼玉銀行と併設の形で建てられています。今回の増築工事は、これまでの二階建物に対して三階部分を建て増しするもので延べ面積にして二八五・一平方メートルになります。この工事は、昨年の九月に着工され今年の二月に竣工予定です。完成時には、教育委員会が使用するようになります。

【本庁舎増築工事の概要】

本庁舎の増築工事は、庁舎西側部分二階機室の上に二階三階二部を増築して増しを行い、延べ面積にして三三六・三平方メートルとなります。この工事は、昨年の十一月に着工され今年の三月の竣工される予定で進められていますが、この建物が完成し

庁舎増築に伴い 一部配置転換

市では、庁舎の増築に伴って本年四月一日より市内の一部配置転換を行います。

今回の配置転換で対象となるのは教育委員会、議会関係、工務検査室、電算室、市史編纂室の移動を伴っています。現在その準備を進めています。

【配置転換の主な概要】

教育委員会は、現在本庁舎三階東側の総務課、学校教育課が配置されました。別館に社会教育課、湖文庫があります。この配置転換によってこれらが一体化され、増築中の別館の階に全部集約されるようになります。

議会関係は、これまで三階西側に事務係、委員会室などがありましたが、本庁舎増築に伴い現在建築中の建物に全部移されるようになります。

工務検査室は、議会の移転に伴ってこれまで二階北側にあった部屋から三階委員会室の隣りに移ります。

電算室は、これまで三階教育委員会室の隣りに配置されていましたが、四月から教育委員会の一部を使用するようになり、職員市史編纂室は、現在西側車庫隣のアルファ建物に事務室がありますが、今後本庁舎三階の教育

市民サービスの向上をめざす

「ゆりがこが（職場）」という言葉が耳にしますが、市役所はまさに市民の皆さんへの一生の事務取扱をします。

赤ちゃんとのお母さんや、成長した子供、幼稚園、小学校、中学校、高校、大学とあり、社会人とともにお暮りなっています。その段階とご年齢に合わせて、また日常生活の中でさまざまな問題に対しても密接な関係を保っています。

こんな中で市では、市民の皆さんの幸せを願い、健康で安心して生活できるよう種々の施策を講じています。

ところで、市役所庁舎の増築、庁内の配置転換によって四月一日から新しい新しいスタート

そこで今回は、今後とも市民の皆さんに気軽に利用していただけるような窓口となる、職員の資質の向上と内部の調整を図りよりよい市民サービスをめざして職員一同、意気奮起してまいりたいと思っております。